



A L A R M !

BABY-Q
dance performance
[ALARM!]
©APHALL

2004
09/25 (SAT)
19:30 START

09/26 (SUN)
13:00 START
17:00 START

BABY-Q

Dance Performance

BABY-Q

Dance Performance

アイホールダンスコレクション Vol.35
TOYOTA CHOREOGRAPHY AWARD 2004「次代を担う振付家賞」受賞作品

ALARM!

2004年9月 @AI-HALL
25日(土) 19:30開演 ※開場は開演の30分前。
26日(日) 13:00開演、17:00開演

チケット (全席自由) 前売¥2,500 当日¥2,800 学生¥2,000
(前売・当日共、要学生証)

チケット取扱

電子チケットびあ: 0570-02-9999 (オペレータ予約) 0570-02-9966 (Pコード:355-987)
JCDNダンスリザーブ: <http://dance.jcdn.org/> (オンライン予約)
アイホール: 072-782-2000

アラーム

[ALARM]

警報。恐慌。恐れ。警報警報。目ざまし時計

体験する時間の流れの中で、この先の出来事は？

凄まじい速度で流れていく時代の中で、

いったい何を感じていくの？

生命の強度の変化を感じることがある？

そこに行くまでにはどれくらいかかるのだろうか。

私たちに実際なことが出来るのだろうか。

ある警告が心に響いたあとの世界。

どうしても止められないこの感情をどこにむければいいの？

ずっとこのままではいられない。

どこかへ。

どうしようもないことに憧れて生きてきた。

自分で逃げ出すほかはない。

いつの間にかこんなところへ来てしまった。

ある警告が心に響いたあとの世界。

どこかへ。

振付・演出・構成: 東野祥子

出演: クスミヒデオ / 川崎麻生 / 豊田奈奈子 / 樋口洋子 / 西野なお子 / 山本泰輔 / 上月一臣 / ミンゴ / 池端美紀 / 東野祥子

音楽: NATHO TOYOTA

映像: ROKAPENIS / gulla TxMxD

美術: DESTROYED ROBOT / SUBTERRANEANS

照明: 柿崎清和

舞台監督: 漢義則 (SFC)

音楽: 加藤陽一郎 (SFC)

舞台写真: 井上嘉和 / John-Harte

ビデオ撮影: 森崎真美 / 中島亮

ライター: DAISUKE YAMAMOTO

スタッフ: 内田欽弥 / KAMON / レニー・マウエロ / 川崎千尋 / 青野恭子 / TORIMARI / 中島マリ / 小松徹夫 / 土師洋之 / 他

BABY-Q

1999年、東野祥子を中心として結成。様々なジャンルで活躍するメンバー(ダンサー/役者/ミュージシャン/映像作家/ロボット制作家/美術作家)とのコラボレーションで、空間における身体、音楽、映像を含めた多面的な表現媒体の共存する舞台を展開する。01年、「E-den」がNYのケーブルTVで放送され話題を呼び、以降、01年「teletext-stereogram」、02年「REMroom」、03年「F-ZERO-Z 滑らかな独身者機械」をアイホールにて発表する他、東野祥子のソロ活動として即興ミュージシャン等とのセッションを野外やクラブ、ギャラリー等で精力的に行う。04年「TOYOTA CHOREOGRAPHY AWARD 2004」にて「次代を担う振付家賞」を受賞。

WEB: www.BABY-Q.org CONTACT: info@baby-q.org

会場・公演お問合せ先

AI-HALL アイホール

・JR伊丹駅下車すぐ
・阪急伊丹駅から東へ徒歩7分

TEL: 072-782-2000
WEB: <http://www5.ocn.ne.jp/~aihall/>
MAIL: aihall@juno.ocn.ne.jp
兵庫県伊丹市伊丹2-4-1



一年間を再して、自分、他者の心に響くアラームを鳴らしたいという思いで、作品を制作してきました。自分の心に響くアラームはいったいなんなのか？それを他者、傍観者にどう伝えるのか？この世界で起こっている出来事をどう受け止めていくのか？アラームの鳴った後、人の体感的時間の流れが変わり、そこからなにかが始まる。

例えば目ざまし時計のアラームで起きる。夢から覚め、現実を引き戻されいつもの日常が始まる。携帯電話が鳴

る。他者との交信で情報を得、行動を起こさなくてはならなくなる。といったように時間の流れを変える力のある音は、現代では非常に日常的でそれに慣れ、まっとうするように思われます。町ではアラーム音が反乱し、それなしではもう生活できないくらいに、気付いて欲しい。どんな捉え方でもいい。自分の生活に戻った時に、思い出し、心を動かして欲しい。疑問を持つて欲しい。なにかを得て欲しい。

東野祥子

